

(7) のりものと商店がいのつながり

- お客さんはどんな交通を利用しているか調べてみましょう。



あぶくまきゅうこうせん
阿武隈急行線

○阿武隈急行線の1日の回数

東北本線にも乗り入れています。

- のぼり 福島方面いきです。
24本（郡山まで2本）
- くだり 丸森、槻木、仙台方面
25本（仙台まで2本）
福島から富野までのもあります。

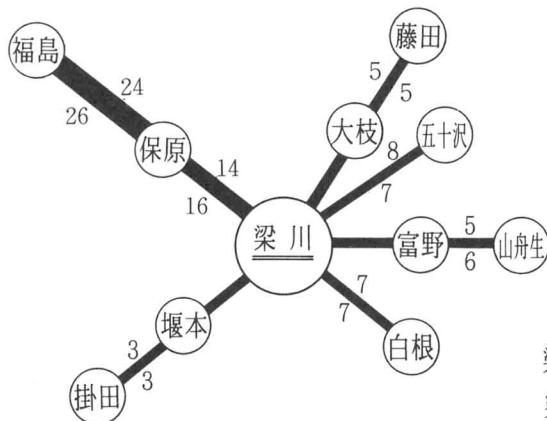
（平成10年12月改正）



○利用するお客さん

- 1日の利用者 平均 697人
（平成10年度梁川駅乗降人員）
- つうきんや通学に利用したり、買い物や旅行にでかけます。
- 身近な交通きかんとして、町の人たちに親しんで利用されている。

バスの利用



1日にバスの走る回数

○阿武隈急行線の開通でバスの本数は少なくなりました。

○フリー区間があり、バス停でなくても乗り降りができます。（大枝－藤田線）



梁川発
梁川行

梁川駅からでるバス

- さいきんは自家用車が多く使われるようになり、マイカーでの買い物客がふえてきました。交通量もふえ、ちゅうしゃ場も必要になってきています。